
みちしお別冊

「図書案内」

2024 年2月号（隔月発行）
社会福祉法人名古屋ライトハウス
情報文化センター

も く じ

- | | |
|-------------------|-------------------|
| □ 2024 年 2 月の図書案内 | (69 タイトル) |
| ・ 「広島」 特集 | (15 タイトル)・・・ P. 1 |
| ・ デイジー図書新刊 | (20 タイトル)・・・ P. 3 |
| ・ 点字図書新刊 | (34 タイトル)・・・ P. 6 |
-
-

2024年2月の図書案内 (69タイトル)

★録音・点字ともに全国に向け直接貸出しをしています★

書名の前の番号（今回は2-1から2-69）は、各号通し番号になっています。貸出し希望をされる時にご利用ください。図書の貸出し数は1人6タイトルまで、期間は1ヶ月です。特集はタイトルごとに、デイジーの時間数、点字の冊数（枚数）を表示しています。書誌の漢字はサピエ図書館の漢字表記に準じています。

「広島」特集 (15タイトル)

「平和であることに喜び、愉しむ場」として、2月にサッカースタジアム「エディオンピースウイング広島」が開業します。サッカーのための施設にとどまらず、平和発信の拠点・都心部の活性化など、多くの期待が込められています。

このスタジアムの開業にちなんで、今回は「広島」をテーマに図書を選びました。広島にまつわる人物や平和への願い、広島を舞台にしたミステリーなど、様々なジャンルの図書をお楽しみください。

日本の小説

2-1	いつも見ていた広島	ーダウンタウンズ物語	小説吉田拓郎ー				
				田家秀樹著	13時間	7冊 (408枚)	2007

1960年代半ば、バンド活動に打ち込んだ若者たちの青春群像。「吉田拓郎」を作り上げ世に送り出した時代背景を描く。

2-2	尾道茶寮夜咄堂 1						
				ーおすすめは、お抹茶セット五百円（つくも神付き）ー			
				加藤泰幸著	8時間	4冊 (249枚)	2016

たった一人の肉親である父親を失い、残されたのは古民家カフェ「夜咄堂」だった。そこには、茶道具のつくも神だという見慣れない二人がいた。

2-3	尾道に消えた女			西村京太郎著	5時間	4冊 (235枚)	1991
-----	---------	--	--	--------	-----	-----------	------

日下刑事の妹が、何者かに船から突き落とされた。彼女は尾道で姿を消した親友の足取りを追っていた。急を聞き現地へ飛んだ日下は、独自の捜査を開始。

2-4 警察庁広域特捜官梶山俊介 ー広島・尾道「刑事殺し」ー
本城英明著 7時間 4冊 (241枚) 2009

「警部殺し」に身内の広島県警が捜査妨害！梶山は警部殺害事件に乗り出すが、県警の「非協力」に立ち往生。ダイニング・メッセージの「青いバイク」とは？

2-5 小早川隆景 ー毛利一族の賢将ー
童門冬二著 7時間 6冊(片面440枚) 1997

有名な〈三本の矢の教訓〉、それはただ一人に向けられたものだった。名将・毛利元就の三男で、智将とうたわれた隆景。乱世を生き抜いた男の活躍を描く。

2-6 辻斬り ー広島藩目付見習探索控ー
阿木佳都子著 6時間 3冊 (194枚) 2007

修行者のもとで厳しい鍛錬に明け暮れた小太郎は、三年間の剣術修行を終えて帰ってきた。そんな中、脱藩の罪で謹慎の身となっている幼馴染と再会する。

2-7 光のうつしえ ー広島 ヒロシマ 広島ー
朽木 祥作 4時間 2冊 (128枚) 2013

夏の夜、川には灯籠が流れる。今までよく知らなかった、広島に原爆が落ちた“あの日”のことを、周りの大人たちから聞かせてもらうことに…。

2-8 宮島・伝説の愛と死 西村京太郎著 8時間 4冊 (223枚) 2009

余命3ヶ月と宣告された女性が殺された。十津川警部は、彼女が最後の旅を計画していた宮島に向う。参拝遊覧船で起きた転落事故が意外な展開を見せ…。

2-9 毛利元就 1 山岡荘八著 9時間 4冊 (326枚) 1986

応仁の乱から30年。世はまさに乱世。中国地方では山口の大内が上洛をねらい、出雲には尼子が牙を光らせていた。二大勢力の間に揺れる小国に生まれた元就。

2-10 山中鹿之介 ー毛利に挑んだ不屈の武将ー
星 亮一著 11時間 5冊 (369枚) 1997

山陰の大名・尼子氏に仕え、毛利に降った後も主家再興を期して不屈の闘志で戦い続けた山中鹿之介。30余年のその清々しき生涯を描く長編歴史小説。

一般

2-11 オバマへの手紙 ―ヒロシマ訪問秘録―
三山秀昭著 6時間 3冊 (187枚) 2016

ついにアメリカの現職大統領が被爆地・ヒロシマを訪れた。この歴史的快拳の裏には、「三人のK」の連携と、広島市民の「謝罪を求めない」心があった。

2-12 がばいばあちゃん ―佐賀から広島へ めざせ甲子園―
島田洋七著 5時間 3冊 (176枚) 2006

「夢は叶わなくても、ええ。しょせん夢なんじゃから」夢を諦めたときにばあちゃんから貰った言葉。島田洋七の波瀾万丈の青春時代を綴る。

2-13 広島はすごい 安西 巧著 7時間 4冊 (226枚) 2016

独自の戦略を貫くユニークな会社や人材が輩出する背景には何があるのか。日経広島支局長が、その県民性に注目し、「今こそ広島に学べ」と熱く説く。

2-14 前田の美学 ―広島東洋カープ前田智徳―
迫 勝則著 7時間 3冊 (236枚) 2007

日本のプロ野球界で、これほど孤高にして凜たる野球人生があっただろうか。アキレス腱を手術しながらも、理想の打撃を追い求め続けたカープの前田智徳。

2-15 野球の神様がいた球場 ―広島市民球場とカープの軌跡―
衣笠祥雄著 4時間 2冊 (136枚) 2008

鉄人がヒーローになった。赤ヘル軍団が躍動した。カープファンが赤く熱狂した。世界の鉄人・衣笠が、広島市民球場への感謝、惜別の想いをつづる。

デイジー図書新刊 (20 タイトル)

「サピエ図書館」登録済みのデイジー図書で、ダウンロード可能です。

日本の小説

2-16 こころ ―夏目漱石の世界― 竹本公彦著 5時間 2022

同郷の友人が思いを寄せていた女性を妻にしたこと、その友人が自殺してしまったこと。夏目漱石「こころ」の登場人物たちの「こころ」を読み解く。

2-17 十年屋6 ー見習いのお時間ですー 廣嶋玲子作 4時間 2022

大切なものを10年間、魔法で預かる「十年屋」。いま魔法街をにぎわせている話題は、あの十年屋の優秀な執事に弟子入りした使い魔がいるらしいということ！

2-18 終末惑星ふたり旅 蒼月海里著 7時間 2023

隕石が落下して動植物が死に絶えた、地球によく似た星。自然現象を司る竜を目覚めさせれば、滅びかけた人類の再出発になると学者たちは考えた。

2-19 殊能将之 未発表短篇集 殊能将之著 5時間 2022

傑作長編ミステリーを生み出してきた殊能将之。彼の没後発見された未発表短編や、殊能将之誕生前夜の出来事を綴った「ハサミ男の秘密の日記」を収録。

2-20 人狼城の恐怖 第3部 ー探偵編ー 二階堂黎人著 17時間 2001

合計二十人もの死者を数える人狼城殺人事件。蘭子が鋭敏な推理力から看破した犠牲者たちをつなぐ「失われた環」とは？空前絶後の謎と恐怖、いよいよ佳境へ。

2-21 保健室経由、かねやま本館。6 松素めぐり著 7時間 2023

「かねやま本館」でリマに出会い、自分だけの場所ではないことに嫉妬心を抱くヨシノ。そんな中、ヨシノとリマは「かねやま新館」に来るよう誘われる。

外国の小説

2-22 金庫破りときどきスパイ アシュリー・ウィーヴァー著 12時間 2023

錠前師のおじを手伝うエリーは、裏の顔である金庫破りの現場を少佐に押さえられてしまう。そのことで脅されて、彼とともにある屋敷に侵入し…。

2-23 クジオのさかな会計士 ジャンニ・ロダーリ著 3時間 2021

クジオ（オルタ湖）で取材をしていた作家の私は、地元の会計士から声をかけられる。彼は魚になるためのトレーニングをしているのだという…。

2-24 最後の語り部 ドナ・バーバ・ヒグエラ著 14時間 2023

恒星間植民船に乗った少女ペトラ。長い眠りから目覚めると、彼女以外の乗客は地球の記憶を消去されていた。ペトラは恐ろしい計画に戦いを挑み…。

2-25 ハムナプトラ ー失われた砂漠の都ー

マックス・アラン・コリンズ著 12時間 1999

伝統の古代都市ハムナプトラを目指し、砂漠へ乗り出した。それが、想像を絶するような、強大で呪詛に満ちた力を解き放つ旅であるとも知らずに…。

一般

2-26 伊勢白山道事典 第1巻 ー自分で出来る感謝の先祖供養編ー

伊勢白山道著 12時間 2023

誰もが出来る「幸せへの道」の実践方法を集大成。第1巻は、願掛けや占いに頼ることの危険性と、あの世へ届く先祖供養の方法をまとめる。

2-27 聴きポジのススメ ー会話のプロが教える聴く技術ー

堀井美香著 5時間 2023

大事な人との関係は聴くことから始まる。心地よい対話を生む聴く心構えや、深い対話を生む聴く力のつけ方、シチュエーション別の聴く技術などを解説する。

2-28 貴族とは何か ーノブレス・オブリージュの光と影ー

君塚直隆著 15時間 2023

貴族階級はいかに形成され、どのような社会的役割を担い、なぜ多くの国で衰退していったのか。古今東西の貴族の歴史を丁寧に辿り、彼らの責務を問い直す。

2-29 サンドワーム ーロシア最恐のハッカー部隊ー

アンディ・グリーンバーグ著 18時間 2023

ウクライナとロシアの紛争。ロシアのハッカー集団の脅威とそれを食い止めようとしてきた研究者達の仕事を辿り、ウクライナ戦争前の攻防に迫る。

2-30 進駐軍を笑わせろ！ ー米軍慰問の演芸史ー

青木 深著 13時間 2022

米兵のために娯楽を提供した日本の芸人やダンサーや歌手。敵国だった彼らを前に、鍛え上げた「芸」を披露し、戦後の混乱期を生き抜いた人々の姿を描く。

2-31 (ナイチンゲールの越境8 管理) ナイチンゲールのマネジメント考
組織管理者としての責任 —ナイチンゲール生誕200年記念出版—
井部俊子ほか著 5時間 2022

ナイチンゲールは、マネジメントの重要性や管理者に必要な資質について繰り返し述べている。彼女の理論を読み解き、現代にどう活かせるかを考察する。

2-32 嘆く白内障患者たち 山口大輔著 6時間 2023

白内障手術には、患者も白内障や手術の知識を持つことが重要。眼科医が、白内障手術の現状や、正しい眼内レンズの選び方と医師の見極め方を解説する。

2-33 (日本の特別地域特別編集64) これでいいのか愛媛県
—海賊県えひめは四国の中では意外とほのぼの!?—
鈴木士郎編 10時間 2014

雅な歴史と物語の国・愛媛県。愛媛県を多角的に解き明かし、県民の意外な素顔を暴き出す。

2-34 吹けば飛ぶよな男だが 渋谷龍太著 6時間 2023

SUPER BEAVERのボーカル・渋谷龍太が、日々思うこと、身の上に起きたことをユーモラスに綴る。書き下ろし小説「吹けば飛ぶよな男だが」も収録。

2-35 明治維新のカギは奄美の砂糖にあり —薩摩藩隠された金脈—
大江修造著 5時間 2010

薩摩藩は日本最大級の軍事力を備え薩英戦争に勝利。さらに徳川幕府を倒し、明治政府を樹立した。この軍備を可能にした、薩摩藩の豊かな財政の秘密とは？

点字図書新刊 (34 タイトル)

「サピエ図書館」登録済みのパソコン点訳図書です。貸出しのほか、プリント料金、1枚あたり片面印刷10円、両面印刷15円で購入できます。お申込みは貸出し担当まで。

日本の小説

2-36 あきらめなかった男 一大黒屋光太夫の漂流記―

小前 亮著 3冊 (187枚) 2023

鎖国時代に北の孤島へ漂着。命は助かって国へ帰れる見込みはなかった。それでもあきらめず、帰国した日本人の大冒険を描く歴史アドベンチャー。

2-37 化石少女と七つの冒険

麻耶雄嵩著 5冊 (323枚) 2023

名門学園で相次ぐ怪事件。化石オタクの古生物部に加わった怪しい1年生。男子部員の禁断の秘密。いかがわしい新入生探偵まで登場。予測不能の結末が！

2-38 かんばん娘 一居酒屋ともえ繁盛記―

志川節子著 4冊 (228枚) 2022

父が行方知れずになり、神田花房町の居酒屋で働くことになった14歳のなずな。女将や板前の役に立ちたいなずなだが、お客のことに首を突っ込んでしまい…。

2-39 古事記転生

サム著 3冊 (161枚) 2023

仕事も人間関係もズタボロのサムはトラブルに巻き込まれ命を落とす。目覚めた彼は「古事記」の世界で下っ端の神様として転生し、“日本の建国”を任せられ…。

2-40 この本を盗む者は

深緑野分著 6冊 (388枚) 2023

蔵書が盗まれたことで本の呪いが発動し、町は物語の世界に姿を変えてしまう。泥棒を捕まえない限り町が元に戻らないと知った高校生の深冬は…。

2-41 戦国を生き抜いた男

―織田・豊臣・徳川と主君を渡り歩いた侍、本城惣右衛門武功録―

浅倉 徹著 5冊 (311枚) 2023

織田、豊臣、徳川と、いくたびも主君を代えながら戦国の世を生き延びた本城惣右衛門。その波乱の生涯を、歴史学者が資料に基づいてリアルに描く小説。

2-42 第二次大戦 壮大なチェス盤、錯誤の連続

石塚康彦著 5冊 (300枚) 2023

第二次世界大戦における、ヒトラー、スターリン、ルーズベルト、チャーチルも錯誤の連続であった。それを支えたインテリジェンスについて綴る。

2-43 ばけもの厭ふ中将 一戦慄の紫式部一
瀬川貴次著 4冊 (228枚) 2023

時は平安。「今源氏」と噂される色好みの貴公子・雅平は、数々の女性と浮名を流していたが、紫式部の祟りが襲う！？ドタバタ平安怪異譚。

2-44 春を嫌いになった理由 誉田哲也著 6冊 (358枚) 2023

フリーターの瑞希は、超能力者エステラの通訳を任された。透視通りに行動したスタッフは、白骨死体を発見する。妹と中国から日本に密入国した林守敬は…。

2-45 武装酒場の逆襲 樋口明雄著 5冊 (300枚) 2009

路上で父が殺された現場を目撃した少女の口を塞ごうと、店を包囲した謎の暗殺部隊。ユニークな酔客たちは、少女を守るために立ち上がる。武装酒場の続編。

2-46 ホワイトデス 雪富千晶紀著 10冊 (605枚) 2023

瀬戸内海に凶暴な巨大なサメが迷い込んだ。いつまでたっても外海に出て行かず、漁師や住民たちは平和な海を取り戻すべく、必死の抵抗を繰り広げるが…。

2-47 迷宮教室 一出口のない悪魔小学校一
あいはらしゅう著 2冊 (115枚) 2020

仙道ヒカルは、目ざめると恐怖の授業の迷宮教室にいた。難問に正解しなければ、永遠にでられない教室。7人のクラスメイトと最恐の教室から脱出を試みるが…。

2-48 流人道中記 上 浅田次郎著 6冊 (390枚) 2023

切腹を言い渡されたが、それを拒んで蝦夷へ流罪となった旗本・青山玄蕃。ろくでなしでありながら、道中で行き会う弱き者を決して見捨てぬ心意気があり…。

2-49 流人道中記 下 浅田次郎著 6冊 (321枚) 2023

流人・青山玄蕃と押送人・石川乙次郎は、旅路の果てで明らかになる、玄蕃の抱えた罪の真実。武士の鑑である男が、恥を晒してまで生きる道を選んだのは。

外国の小説

2-50 赤と白とロイヤルブルー

ケイシー・マクイストン著 8冊 (552枚) 2021

ウエディングへの参列を前に、アメリカ初の女性大統領の長男アレックスは憂鬱だった。王子の弟と、女性誌に載る回数を競うライバル同士だと言われるが…。

2-51 欺きの仮面

サンドラ・ブラウン著 9冊 (612枚) 2021

裕福な女性ばかりを狙う連続殺人犯。ドレックスは、隣人として近づくと、男には美しい妻がいた。次の犠牲者か、共犯者か。疑いつつも彼女に惹かれていき…。

2-52 金庫破りときどきスパイ

アシュリー・ウィーヴァー著 7冊 (412枚) 2023

錠前師のおじを手伝うエリーは、裏の顔である金庫破りの現場を少佐に押さえられてしまう。そのことで脅されて、彼とともにある屋敷に侵入し…。

2-53 地下図書館の海

エリン・モーゲンスターン著 10冊 (707枚) 2023

ザカリーが図書館で出会った、著者名のない本。そこには彼の少年時代の不思議な体験が記されていた。本の秘密を追う彼は、物語で満ちた迷宮にたどりつき…。

2-54 ディンマスの子供たち

ウィリアム・トレヴァー著 5冊 (333枚) 2023

港町で、人々は複雑な事情がありながらも平和な生活を営んでいる。しかし、一人の少年によって人々の意識の裏に潜む欲望・願望・夢が暴き出されていき…。

2-55 時をかける愛

三鳳製作ほか著 7冊 (413枚) 2022

黄雨萱は、飛行機事故で行方が知れぬままの恋人を忘れられない日々を過ごしていた。恋人にそっくりな学生の写真を目にした彼女は、写真を調べ始め…。

一般

2-56 家康の10大危機

長屋良行著 3冊 (166枚) 2023

150年続いた戦国の世に終止符を打ち、260年にも及ぶ泰平の世の礎を築いた徳川家康。59歳で迎えた関ヶ原の戦いまで、家康の10大危機をわかりやすく解説。

2-57 英国の幽霊城ミステリー 織守きょうや文 3冊 (171枚) 2023

ハットフィールドでは、エリザベス1世が少女の姿で現れる。ロンドン塔では、処刑された首のない姿が徘徊する。城をさ迷う幽霊たちの物語から、英国の歴史を読み解く。

2-58 大江健三郎と「晩年の仕事」 工藤庸子著 10冊 (618枚) 2022

大江の底知れない創作力の根源には何があるのか。魅了されたフランス文学者が、「晩年の仕事」を読み直し、大江＝世界文学の先見性と深淵に迫った評論。

2-59 貴族とは何か ―ノブレス・オブリージュの光と影―
君塚直隆著 6冊 (406枚) 2023

貴族階級はいかに形成され、どのような社会的役割を担い、なぜ多くの国で衰退していったのか。貴族の歴史を丁寧に辿り、高貴なるものの責務を問い直す。

2-60 公安警察 古野まほろ著 4冊 (256枚) 2023

盗聴、潜入、ハニートラップ…国家的治安維持のためなら何でもあり？公安警察の生態、内情、真の目的とは？ミステリー作家が実像を浮き彫りにする。

2-61 ジーマ・キャプテンのおっとびっくり航海記
―順風満帆と天歩艱難の狭間で生きる船乗りたち―
増島忠弘著 4冊 (273枚) 2022

世界各地を航海してきた筆者が、実際に経験したおっとびっくりな航海記。ただの紀行文でない、船内で起こった面白いハプニングや感動的なお話しを書き綴る。

2-62 四季を感じる毎朝音読 ―心と脳が若くなる―
寺田理恵子著 3冊 (163枚) 2022

毎朝の名作音読で、脳も心も若くなる！著者がすすめたいものや、音読したら気持ちよいもの、教養として身につけたいもので季節感のある作品を選び収録。

2-63 世界史を動かしたワイン 内藤博文著 3冊 (172枚) 2023

キリスト教とワインの関係を決定づけた最後の晩餐、一大産地となったボルドー。ワインと世界史の深いつながりを、さまざまなエピソードを交えて掘り下げる。

2-64 戦争とプロレス –プロレス深夜特急「それぞれの闘いの場所で」篇–
TAJIRI 著 7冊 (397枚) 2022

ウクライナ戦争直撃の欧州、ポスト・コロナに踏み出したアメリカ…。プロレスで海外を放浪する文豪レスラーによる、激動のトラベルルポルタージュ。

2-65 眠れないほどおもしろい信長公記
–「第六天魔王」と呼ばれた男の真実–
板野博行著 3冊 (191枚) 2023

強烈すぎる個性、途方もない狂気…。織田信長に側近として仕えた太田牛一が著した信長公記をベースに、信長の生きざまをわかりやすく、おもしろく読み解く。

2-66 幕末維新史への招待 町田明広著 5冊 (292枚) 2023

幕府海軍は明治政府へ引き継がれたのか？幕末維新史を、分かりやすく紹介。朝廷・幕府などの諸勢力や当時の社会状況を総合的な視点から描き出す。

2-67 吹けば飛ぶよな男だが 渋谷龍太著 3冊 (194枚) 2023

SUPER BEAVERのボーカル・渋谷龍太が、日々思うこと、身の上に起きたことをユーモラスに綴る。書き下ろし小説「吹けば飛ぶよな男だが」も収録。

2-68 間違いだらけの古代史 宮崎正弘著 4冊 (232枚) 2023

縄文期の水田跡と真脇遺跡の発見、皇位篡奪ではなかった壬申の乱、道鏡は極悪人だったのか。左翼史観を覆す事実とともに、常識的視点で古代史を読み解く。

2-69 リーダーは話し方が9割 永松茂久著 2冊 (129枚) 2022

相手の自己重要感を高める言葉、人前でも緊張せず話せる方法、嫌われないリーダーの話し方、仕事もプライベートも大きく好転する話し方のコツを紹介する。

みちしお別冊「図書案内」

2024. 2

2024年2月5日発行

社会福祉法人 名古屋ライトハウス
情報文化センター

〒455-0013

名古屋市港区港陽1丁目1-65

URL <https://nagoya-lighthouse.jp/joubun/>

Eメール kasidasi@nagoya-lighthouse.jp

電話 052-654-4441

FAX 052-654-4481

休館日 毎週土曜日・祝日・第3木曜日・
第5日曜日・夏季休館日・年末年始・
その他の臨時休館日

開館時間 午前9時30分～午後5時

※本誌記事の無断転載はご遠慮ください。